探訪 103

なががわ

那珂川町郷土史研究会

裂田溝30　安徳台および西側周辺

カワセミ公園を過ぎると、裂田溝をまたぐ形で鉄製の「送水管」が架かっています。この送水管の下には裂田溝から東隈へ分水する「こぶの口」堰があります。「こぶの口」の名前の由来は定かではありませんが、古老は「こぶの口と言われている突き出た角は、水の配分のための重要な役割があり、高さや角度にも約束事があったはずだ」と話されていました。この上に架けられた送水管も、特別な水路の一つでした。現在、この水路は使われていませんが、昔、安徳字前にある水田に水を引くために作られたものです。前の水田はやや高台にあり、川から水が引けませんでした。そこで、遠く上梶原から谷川の水を「ドンポ池」に溜め、松の木をくり抜いた樋で裂田溝を跨がせ、安徳台の北側の山裾沿いに200m下ります。途中、ここから長さ80mのトンネルをくり抜いて一旦民家の庭に出して、さらに地下に円管を埋設して、「うそん谷」の溝に通し、前の水田へ送水していました。火砕流をくり抜いたトンネルは両方から掘り進んだもので、合流部でわずか10cmの誤差しかなかったそうです。先人の苦労と技量が偲ばれます。この水路の時期は不明ですが、『続風土記拾遺』などに書かれていないところから、藩政中期以降に造られたものではないかと推測されています。この水路が使われていた頃は、年1回田植前に安徳の農家の人たちが総出でトンネルの中を清掃し、地下の円管を点検していました。現在トンネル内は「コウモリの巣」になっているそうです。

「うそん谷」の坂を上ると「安徳台」へ着きます。安徳台は往古『迹驚岡』と言われ、のちには「御所ケ原」とも呼ばれました。迹驚岡の名は、「神功皇后が裂田溝を造られるとき、大岩にぶつかり工事が難渋したそうです。そこで家臣の竹内宿禰に命じてこの岡に登らせ、剣と鏡を捧げて神に祈ったところ、たちまち雷鳴が驚き大岩を二つに裂き、溝が完成した」ことに由来するそうです。

安徳の名は、平安時代源氏に追われた安徳天皇が平氏一門の原田種直を頼ってこの台地に来られ、しばらく滞在されたので安徳台と呼ばれるようになったと伝えられています。厳しい追っ手を逃れて出立される安徳天皇のために村人が雑煮を作っていましたが間に合わず、汁だけ飲まれて行かれたそうです。これが由来となり、安徳天皇にゆかりのある一軒の家だけは、先代まで餅の入らない雑煮を食べておられたそうです。このほか、「うそん谷」は、源氏の追っ手が村人に天皇の行方を尋ねましたが、村人は天皇のことを知っていながら「知らぬ、存ぜぬ」と安徳天皇をかばいうそをついたのでこの名がついたといわれています。

台地上には平成10年11月に再建された安徳天皇を祭る祠があります。以前安徳宮では、4月24日にお祭りが行われていました。この日は安徳天皇が、壇ノ浦で二位尼に抱かれて入水した日にあたり、このお祭りを『天皇さまごもり』と言って、午前中はうそん谷の水路を清掃し、終わると安徳宮の前に集まって賑やかなおこもりを行っていました。現在は、24日に近い日曜日のお昼に集まり、厄祝いを兼ねたお祭りとなっています。

安徳宮の西側に「堂城寺屋敷跡」があります。ここは原田氏の祈願所跡といわれ、道場寺と称する寺があったとも言われています。この西側の麓に「西谷山明応寺」があります。境内にある「しだれ桜」は埋金の「光連寺」の桜と姉妹桜で、満開のみごとな桜は、那珂川町の隠れたスポットの一つです。明応寺の北側にある「久便池」からの水は、下側にある田んぼへと送られています。ここを西へ行くと切り通しの三差路があり、角に嘉永4年（1851年）に祭られた「猿田彦大神」があります。この先の西側には那珂川が流れ、川幅いっぱいに石畳でせき止められた西隈井堰があります。かつては『風早井堰』と言われ、幕末の頃、黒田藩はここにあった水車を利用して、鉄砲の合薬（火薬の原料）を作っていました。昔から、河川の水を水田に導きその水をまた河川に戻す、歳月をかけた農民の智恵と工夫がそこに適した形の堰を造り、水の大切さを語りかけてくるような気持ちになります。南側にある風早神社は、風をつかさどる神「級長津彦命」と「級長津姫命」が祭られています。

次号は東隈周辺を紹介します。

溝より眺むる子等の棟上げに
かるがも一家の羽音頼もし
マサ子

コースメモ

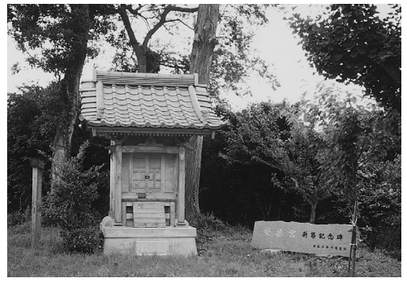
76. 取水口－26（こぶの口）
↓
次号へ　東隈周辺

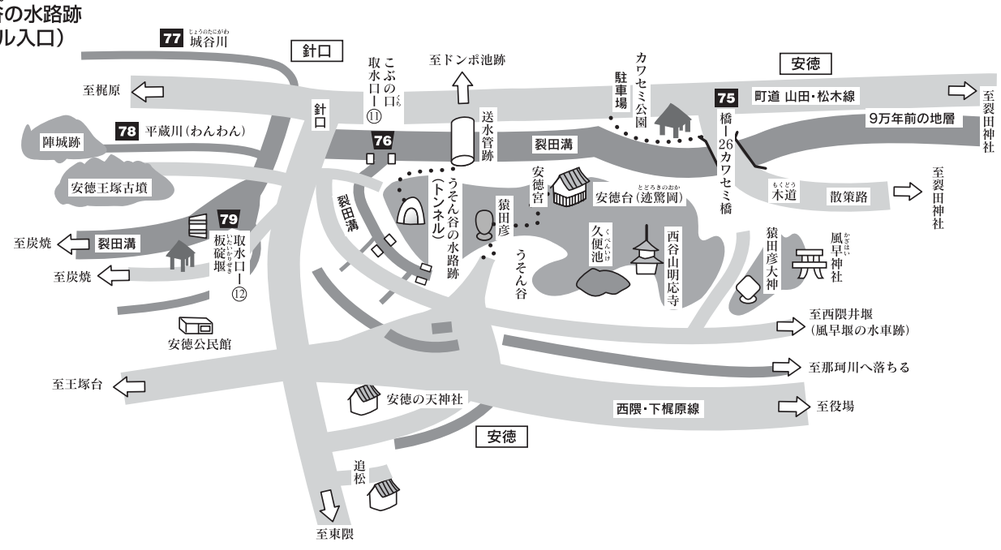
史跡メモ

うそん谷トンネルの水路への送水管跡
↓
うそん谷の水路跡（トンネル）
↓
うそん谷の猿田彦
↓
うそん谷
↓
安徳台（迹驚岡）
↓
（安徳宮）安徳天皇の祠
↓
久便池
↓
西谷山明応寺
↓
追松
↓
風早の猿田彦大神
↓
風早神社
↓
西隈井堰（風早井堰の水車跡）

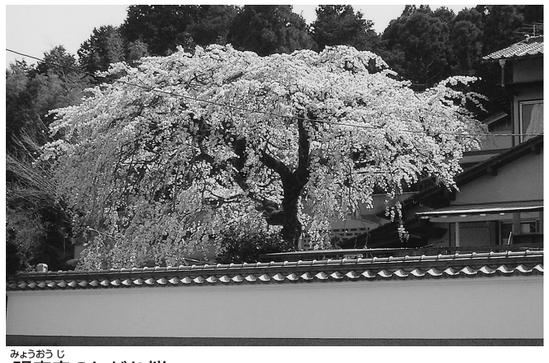
うそん谷の水路跡（トンネル入口）

天皇さまごもり
地区の人が集まって厄祝いが行われます


安徳宮の祠（平成10年11月建立）



風早神社


明応寺のしだれ桜

西隈井堰（旧風早井堰）